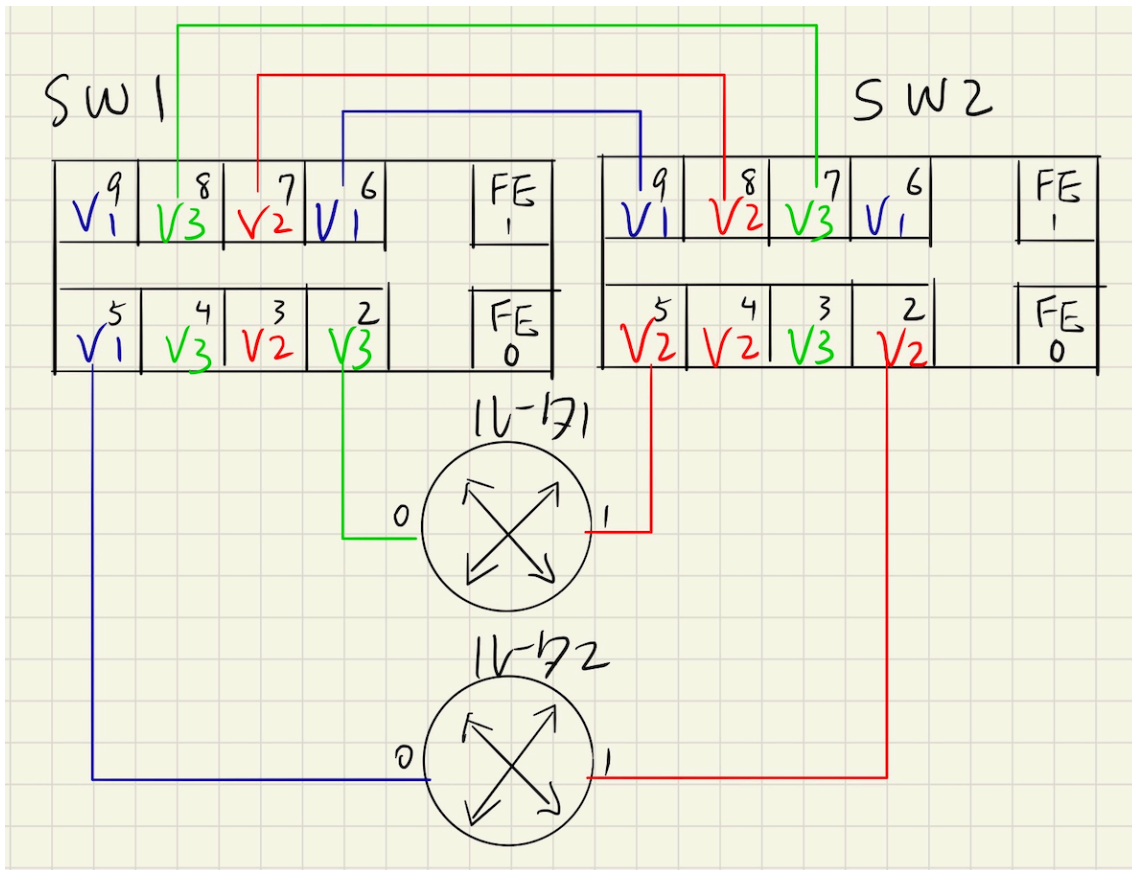


実習3 異なる VLAN 同士の接続



図のように、3つの VLAN 同士を接続するために、ポートの割当てが以下のようにしている。コマンドは実習1を参照する。ここでは省略する。

VLAN の割当

SWITCH 機器番号	VLAN1	VLAN2	VLAN3
SW1	5、6、9	3、7	2、4、8
SW2	6、9	2、4、5、8	3、7

そうすると正しく各ポートに VLAN を割り当てできる。

続いて、ルータのポートに IP アドレスを設定する。

ルータ名	ポート 0	ポート 1
Route1	192.168.5.254	172.16.1.254
Route2	10.1.1.254	172.16.1.253

コーディングは：

ルータ 1 の場合：

コンフィグレーションモードにて

```
interface fastethernet 0↻  
ip address 192.168.5.254 255.255.255.0↻  
no shutdown↻  
exit↻
```

```
interface fastethernet 1↻  
ip address 172.16.1.254 255.255.255.0↻  
no shutdown↻  
exit↻
```

ルータ 2 の場合：

コンフィグレーションモードにて

```
interface fastethernet 0↻  
ip address 10.1.1.254 255.255.255.0↻  
no shutdown↻  
exit↻
```

```
interface fastethernet 1↻  
ip address 176.16.1.253 255.255.255.0↻  
no shutdown↻  
exit↻
```

ケーブル物理的に接続する：

SWITCH 間の接続：ペアとするポートは：

VLAN 番号	SWITCH 1	SWITCH 2
VLAN 1	6	9
VLAN 2	7	8
VLAN 3	8	7

ルータと SWITCH 間の接続：ペアとするポートは：

	RO 1 ポート 0	ROU1 ポート 1	ROU2 ポート 0	ROU2 ポート 1
SWITCH 1	2		5	
SWITCH 2		5		2

ルーティングテーブル：

ルータ	ネットワーク	サブネット	ネクストホップ
ルータ 1	10.1.1.0	255.255.255.0	172.16.1.253
ルータ 2	192.168.5.0	255.255.255.0	172.16.1.254

コーディングは：

ルータ 1 のコンフィグレーションモードにて

ip route 10.1.1.0 255.255.255.0 172.16.1.253

ルータ 2 のコンフィグレーションモードにて

ip route 192.168.5.0 255.255.255.0 172.16.1.254